

さつまいもの定植の仕方を学ぶ子どもたち



親子体験教室の開催 親子で農業の魅力体験

6月6日(出)、親子体験教室として南高久田地内でさつまいも苗の定植体験教室を開催しました。はじめに、認定農業者からさつまいも(べにはるか)苗の定植の仕方について参加者に説明があり、親子で定植作業を行いました。作業しやすい涼しい気温であったため、スムーズに作業が進み、10月には収穫したさつまいもが参加した親子にプレゼントされます。

登録証を交付された生徒たち



鏡石町魅力PR活動ボランティア登録証交付式 魅力を伝えるため

6月4日(休)、町勤労青少年ホームにおいて、鏡石町魅力PR活動ボランティア登録証交付式が行われました。登録証が交付されたのは、岩瀬農業高校と須賀川桐陽高校の生徒20名で、今後町のイベントに参加し、魅力を伝える活動を行っていきます。木賊町長より「活動を通して町を好きになりPRしていただき、高校時代の貴重な経験となるよう期待しています」と挨拶がありました。

出展された作品を眺める来場者



令和8年度「初夏の文化祭」開催 900点を超える力作が揃う

町生涯学習文化協会主催の「初夏の文化祭」展示の部が6日(出)・7日(日)の両日、町公民館を会場として開催され、協会加盟団体による書道・生け花・写真・手工芸・木工等に加え、一般応募作品を含め900点を超える力作が出展されました。今年も、県指定重要文化財「板絵 凌煙閣功臣画像」が特別展示され、会場を訪れた人たちの注目を集めていました。また、7日(日)には囲碁と将棋の大会も開催され、日頃の練習の成果が披露されました。

花苗の定植作業を行う参加者



花いっぱい運動でまちづくり 町内各所で花苗の定植

鏡石町花いっぱい運動実行委員会では、潤いのある明るいまちづくりを図るため、毎年各行政区を中心とした花いっぱい運動事業を展開しています。本年も6月13日(出)・14日(日)に、各行政区民や関係団体の協力のもと、多くの皆さんが参加されて花苗の定植作業が行われました。マリーゴールドやサルビアの苗約2万本が町中の花壇や沿道、プランターに飾られ、これから秋口まで色とりどりの花が多くの方々の目を楽しませてくれます。

田んぼアート豊作祈願田植え祭り

かがみいし田んぼアート実行委員会(和田和久実行委員長)主催による「豊作祈願田植え祭り」は5月30日(出)、晴天のもと町図書館北側の水田で開催されました。

当日は、町内外から参加した約300人が協力して田植えを行い、終了後には町ヘルスマイト(後藤トヨ子会長)お手製の豚汁と田んぼアート米特製おにぎりが参加者に振る舞われました。

今年の絵柄はRPG「天穂のサクナヒメ」とのコラボレーションとなっています。



お手製豚汁を食べる子どもたち

青空のなか思いこめて



泥だらけになりながら頑張りました



青空のなか田植えを行う参加者

影山副団長 藍綬褒章受章を報告 長年の消防団活動で功績

影山圭一郎町消防団副団長は5月29日(金)、町長室を訪れ、令和8年春の褒章での藍綬褒章受章を報告しました。

影山副団長は昭和64年に町消防団に入団し、地元第3分団で活躍された後、平成21年からラップ隊長、訓練部長を歴任し、平成30年12月からは副団長を務めるなど、その功績が高く評価され、今回の受章となりました。



受章を報告する影山副団長(右)

岩農生と学ぶ! あぐりワークショップ開催 学社連携事業として

5月25日(月)、福島県立岩瀬農業高等学校と鏡石町の学社連携事業として、岩瀬農業高等学校にて1回目が開催されました。昨年までのガーデニング教室を、ネーミングを新たに農業体験も含めた内容となっています。

1回目の受講者は15名、講師として生徒5名、先生2名で開催しました。内容は「カトレアの管理」で、カトレアの根切りと植え替えを、生徒の丁寧な指導により行いました。



講師として指導する岩瀬農業高校の生徒